

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	強震観測小委員会	主 査 名：飛田 潤 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：宮本裕司
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>地震工学、耐震、防災分野の機関、技術者、研究者等の協働により、地盤・建物の強震観測とデータ利用に関する研究、技術開発、環境整備を推進し、建築物・都市の地震災害軽減に資することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強震観測体制、データ収集・利用方法などに関する現状分析 (13～14) ・各地域の強震観測、研究に関する情報交換 (13～14) ・強震観測に関する資料整備、環境整備および普及啓発 (13～14) ・強震観測データの分析による建物・地盤の地震応答の解明 (13～14) 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：飛田潤 (名古屋大学) 幹事：植竹富一 (東京電力)、中村充 (大林組) 委員：青井真 (防災科学技術研究所)、赤澤隆士 (地域地盤環境研究所)、 池浦友則 (鹿島建設)、大野晋 (東北大学)、鹿嶋俊英 (建築研究所)、 北川良和 (元慶應義塾大学)、猿田正明 (清水建設)、高井伸雄 (北海道大学)、 山村一繁 (首都大学東京)、山本優 (大成建設)、吉田治雄 (竹中工務店)	
設置 WG (WG 名：目的)	強震観測アーカイブ検討 WG：強震観測およびデータの適切な取得・蓄積・普及・活用に資する「強震観測アーカイブ」の構築に向けた実際的な検討を行う。	
2014 年度予算	160,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://wiki.arch.ues.tmu.ac.jp/smo_aj/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小委員会・WG 等において、各地域や機関の観測事例、最新の観測機器とシステム、データ活用の動向などに関する情報交換と検討を行い、当該分野の連絡会としての機能を果たした。特に今年度は、将来の大災害を想定した強震観測のあり方に関する議論を深めた。 2. 普及資料「強震観測の手引」と基礎資料「国内強震観測台帳」の拡充、オンライン公開、論文公表を行うとともに、それらをまとめた強震観測アーカイブのプロトタイプを構築した。 3. 強震観測データの分析に基づく建物・地盤特性把握の検討を行った。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 強震観測の普及とデータ活用に向けた継続的な取り組み 2. 関連する他の小委員会、関連学協会等との情報交換、連携 3. 強震観測に関する歴史的経緯の再確認と情報共有